







(R7)竹松 8 6号建物污水配管補修工事

工事件名		(R7)竹松 8 6号建物污水配管補修工事			
工事名称		表紙			
図面番号		1/7		作成年月日	
業務隊長		管理科長	宮繕班長	令和7年6月11日	
		電気・給排水・宮繕主任・管財・工事企画			
		設計者			
					

仕 様 書

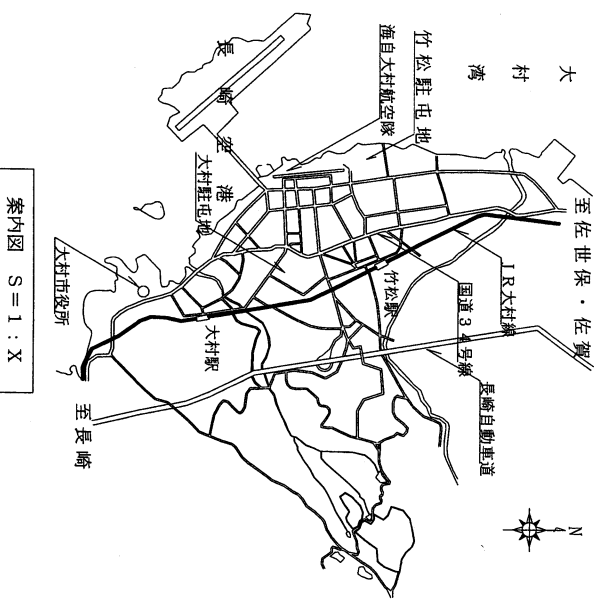
- 1 工事件名
(R7)竹松 8 6号建物汚水配管補修工事
- 2 工事場所
長崎県大村市富の原 1-1000 陸上自衛隊竹松駐屯地
- 3 工事概要
建築工事 1式
電気設備工事 1式
機械設備工事 1式
- 4 一般事項
(1) 本工事において図面及び特記仕様書に記載なき事項は、下記の国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の書類による。
ア 公共建築工事標準仕様書（建築工事編、電気設備工事編、機械設備工事編）最新版
イ 公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編、電気設備工事編、機械設備工事編）最新版
(2) 作業中、他の箇所に汚損又は破損等した場合、直ちに監督官に報告するとともに、請負業者の責任において速やかに現状復旧するものとする。
(3) 本仕様書及び作業に際し、疑義を生じた場合、監督官と協議した後実施するものとする。
(4) 本工事に際し、仕様書に記載なき事項で取合以上及び技術的に当然施工すべき事項については、請負業者の責任において施工するものとする。
(5) 本工事において発生した金属発生材は、発生材調書を作成の上、監督官の指示する場所に集積のうえ引継ぎ、その他の発生材については、請負業者の負担において適切に処分するものとする。
(6) 作業中の安全確保には十分留意して現場管理を行うとともに、事故等が発生しないよう万全を期すこと。万一事故が発生した場合の補償については全て請負業者の負担とする。
(7) 本工事に必要な電気及び水は請負業者が負担するものとする。なお、官側の電気及び水を使用する場合は監督官の承認後、請負業者の負担で計量器を設置すること。ただし、後日料金を徴収する。
(8) 請負業者は作業開始前に危険予知活動(KY・TBM)を実施し、安全管理を徹底するものとする。万一事故等が発生した場合は請負業者の責任において処置し、官側は一切の責任を負わないものとする。
(9) 本工事に使用する材料は全て新品とし、監督官の検査を受け合格後使用するものとする。
(10) 本工事の工事写真は、施工前、施工中、施工後、主要な工事段階毎、隠蔽箇所、全ての使用材料及び監督官の指示する箇所並びに各所工事段階で監督官が入った写真を撮影し、工事写真台帳(A4版)に整理の上、監督官に提出するものとする。なお、写真データは工事完了後確実に破棄するものとする。
- 5 特記事項
(1) 使用する材料については、事前に承認図等を提出し、監督官の承認を受けた後、施工するものとする。
(2) 本工事で使用する材料の規格・色彩等については、監督官と協議し決定するものとする。
(3) 軽量鉄骨天井下地(19形)の野線間隔は300mmとし、吊ボルトについては既存のまま再使用するものとする。

- (4) 新設する汚水管は硬質ポリ塩化ビニル管(JIS K6741)を使用ものとする。
- (5) 新設する掃除流しは、TOTO SK22A又はLIXIL S-202A同等品以上とする。
- (6) 図面の寸法は標準寸法であり、施工の際は事前に現場確認及び採寸を実施するものとする。
- (7) 新設する換気給排気グリルは、三菱 P-18GLF又は東芝 DV-2KMW同等品以上とする。

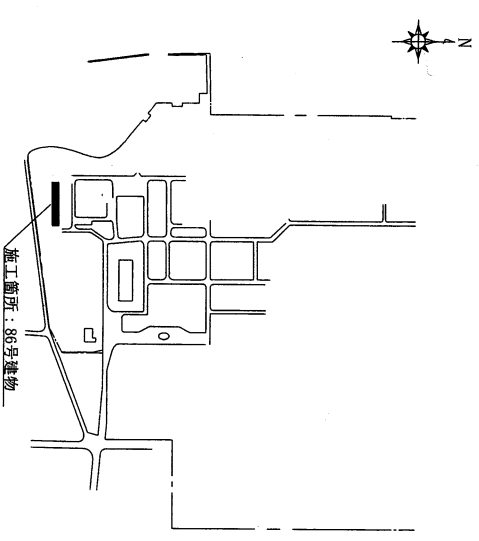
項目	工種	数量(設計)	(便所+周辺廊下10㎡) × 37㎡			
建築工事	養生・整理清掃後片付け	126.00	脚立足場			
	内仕上足場	94.00	19形			
	軽量鉄骨天井下地撤去	30.00	19形 野線間隔300			
	軽量鉄骨天井下地新設	30.00	B種			
	天井ホートNAD塗り	32.00	厚9.0mm			
	天井ホート石膏ホート撤去	32.00	厚9.5mm			
	天井ホート石膏ホート張り	32.00	600×600(アルミ製枠)			
	天井ホート撤去	32.00	4階のみ取替			
	天井ホート張り	32.00	CIP及びUGP			
	点検口新設	2.00	CIP及びUGP			
機械設備工事	掃除用流し	1.00	JIS K6741			
	汚水配管撤去(CIPΦ100)	33.00	GP及びUGP			
	汚水配管新設(VPΦ100)	33.00	GP及びUGP			
	汚水配管撤去(Φ75)	31.50	JIS K6741			
	汚水配管新設(VPΦ75)	31.50	JIS K6741			
	汚水配管撤去(GPΦ65)	9.00	JIS K6741			
	汚水配管新設(VPΦ65)	9.00	GP及びUGP			
	汚水配管撤去(Φ50)	9.00	JIS K6741			
	汚水配管新設(VPΦ50)	9.00	JIS K6741			
	汚水配管撤去(GPΦ40)	9.00	JIS K6741			
電気設備工事	汚水配管新設(VPΦ40)	9.00	JIS K6741			
	換気ダクト撤去	6.00	7MシフトΦ150			
	換気ダクト新設	6.00	7MシフトΦ150			
	換気給排気グリル	6.00	150角程度			
照明器具撤去・取付				6.00	台	既設品使用

- 6 提出書類
 - (1) 工事着工届 (6) 出荷証明書
 - (2) 工事完成届 (7) 工事材料搬入報告書
 - (3) 工事工程表 (8) 工事日誌
 - (4) 現場代理人等通知書 (9) 工事写真帳
 - (5) 施工図、カタログ、承認図等 (10) 発生材報告書
 - (11) 工事打合せ簿(必要とする場合)

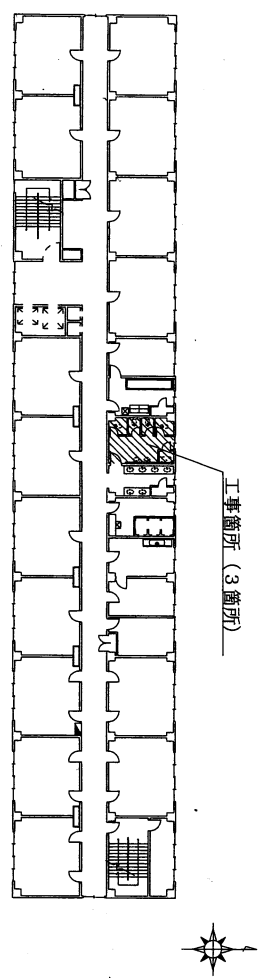
件名	(R7)竹松 8 6号建物汚水配管補修工事				
図面名称	仕様書				
縮尺	図示	作成年月日	令和7年6月1日	図面番号	2/7
竹松駐屯地業務隊 管理科営繕班					



案内図 S = 1 : X

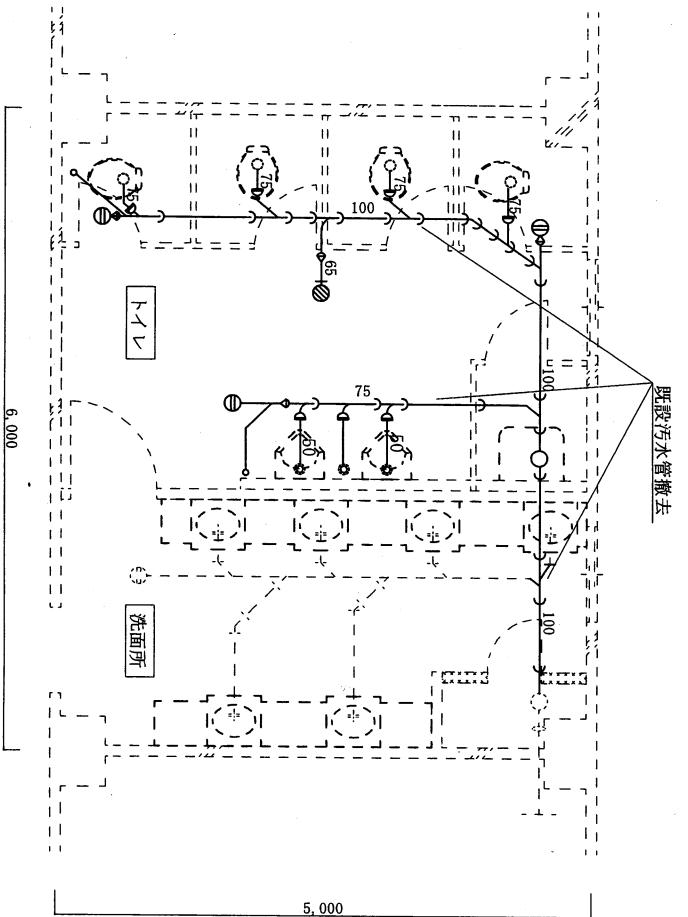


配置図 S = 1 : X



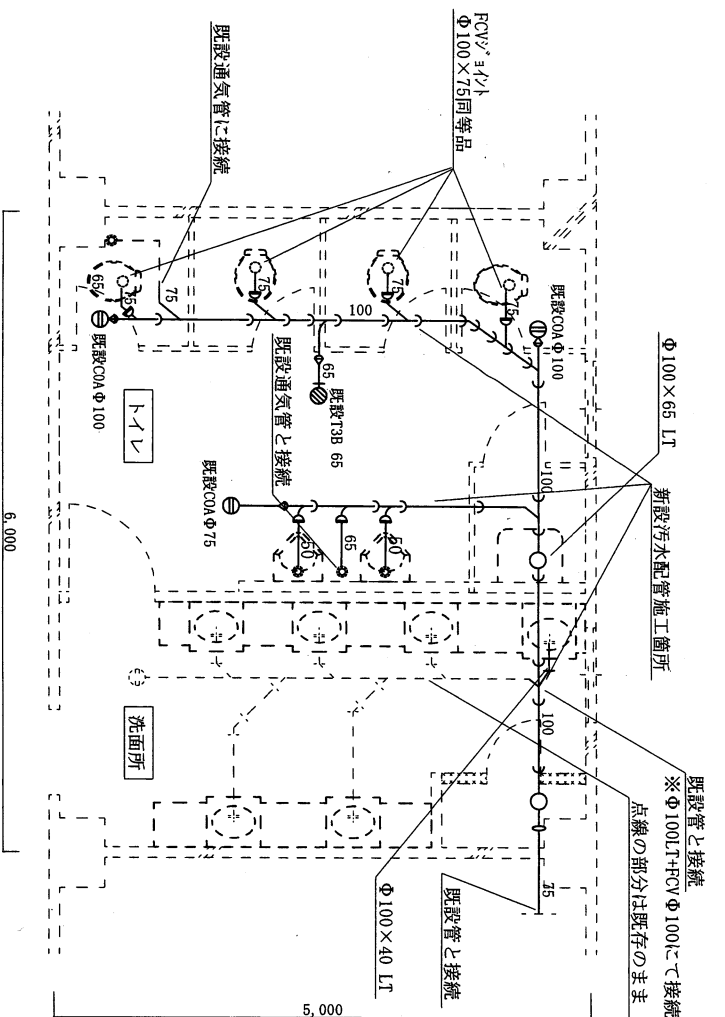
86号建物F・4F・7F平面図 S = 1 : 400

件名	(R7)竹松86号建物污水配管補修工事				
図面名称	案内図、配置図、平面図				
縮尺	図示	作成年月日	令和6年6月11日	図面番号	3/7
竹松駐屯地業務隊		管理科営繕班			



86号建物 1階、4階、7階 男子トイレ
 既設汚水铸铁管φ100、75、65、50、40撤去(保温材含む)

86号建物 1階、4階、7階平面図 (改修前) S=1:50

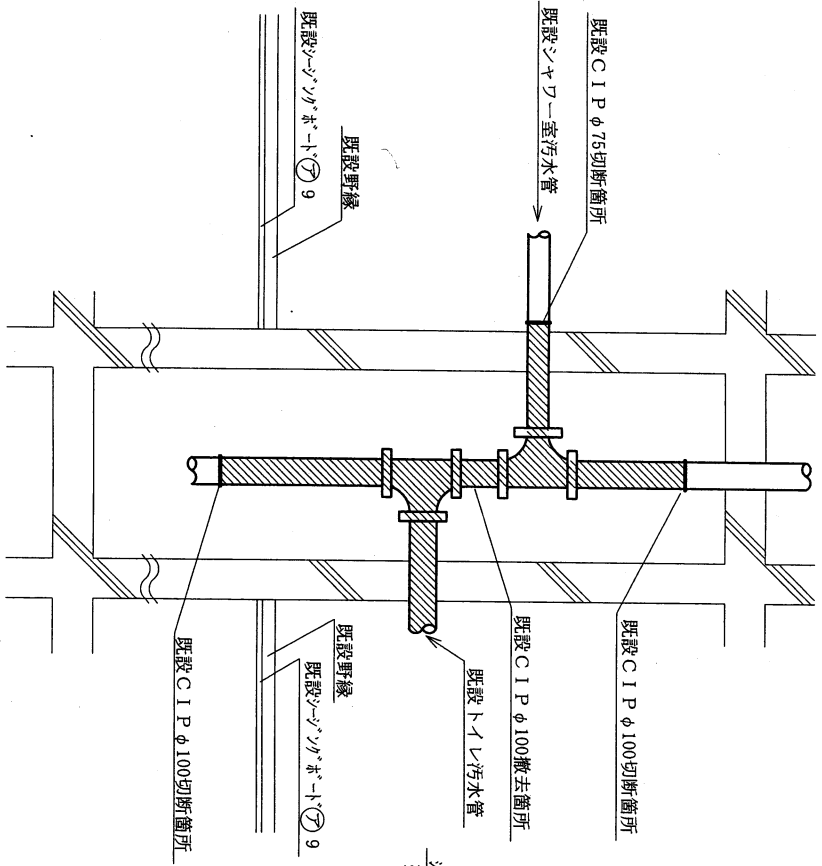


86号建物 1階、4階、7階 男子トイレ
 新設汚水管 (VP管) φ100、75、65、50、40 (377°下で配管接続)
 掃除用差し取管(4階のみ)

86号建物 1階、4階、7階平面図 (改修後) S=1:50

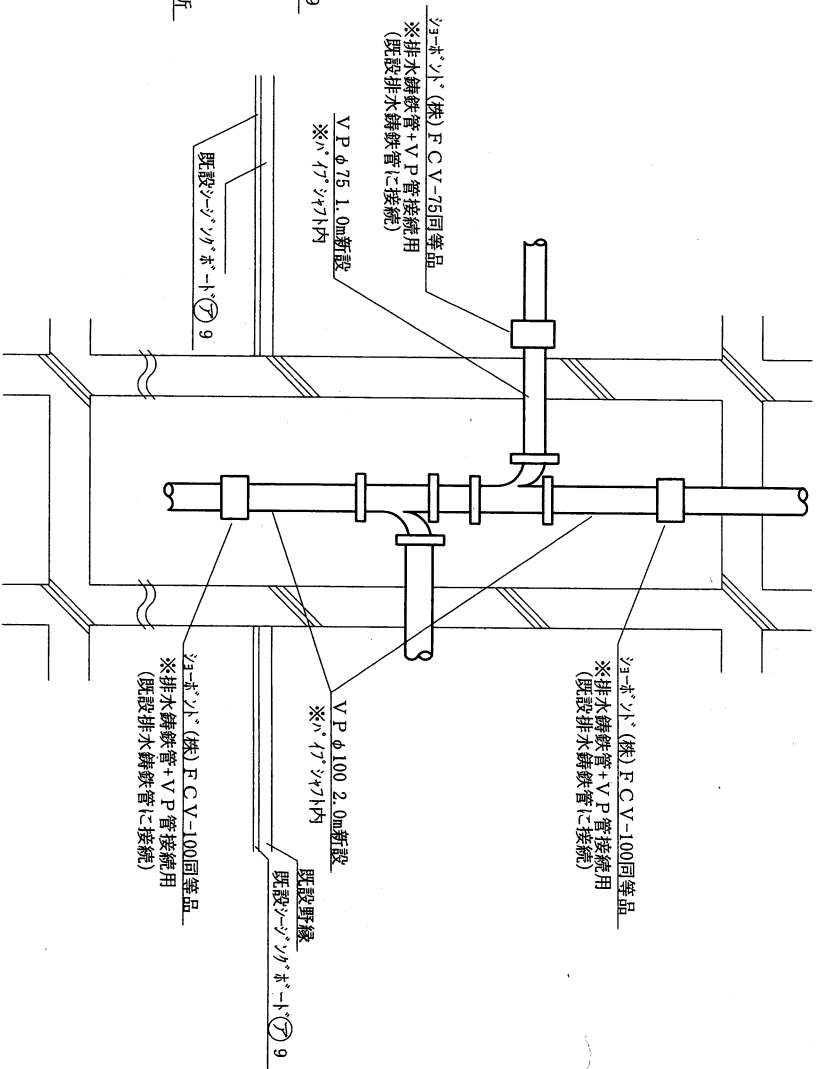
件名	(R7) 竹松 86号建物汚水配管補修工事			
図面名称	平面図 (改修前・後)			
縮尺	図示	作成年月日	令和7年6月1日	図面番号
				4/7
竹松駐屯地業務隊		管理科管轄班		

シャワー室側 ← | → トイレ側



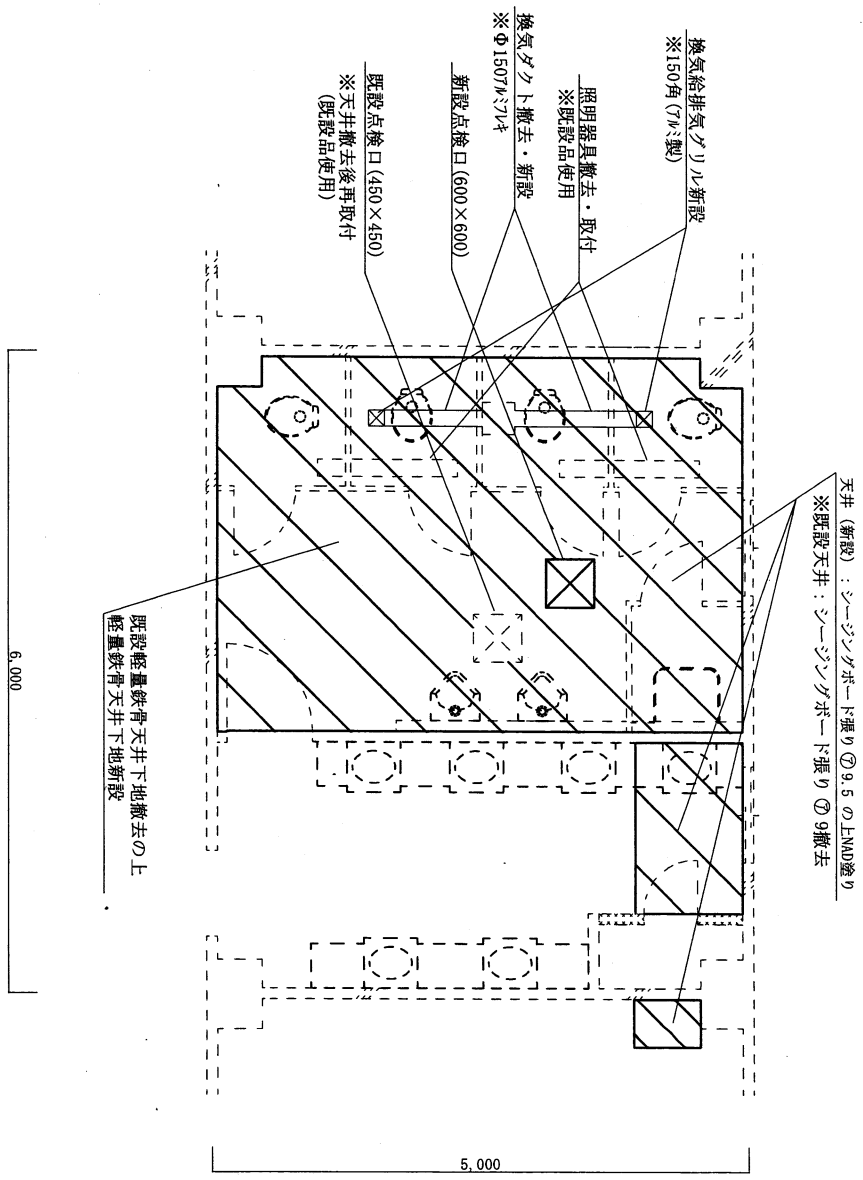
86号建物バイパスシャワー断断面詳細図 (改修前) S=1:20
※6F、3Pバイパス断断面詳細図

シャワー室側 ← | → トイレ側



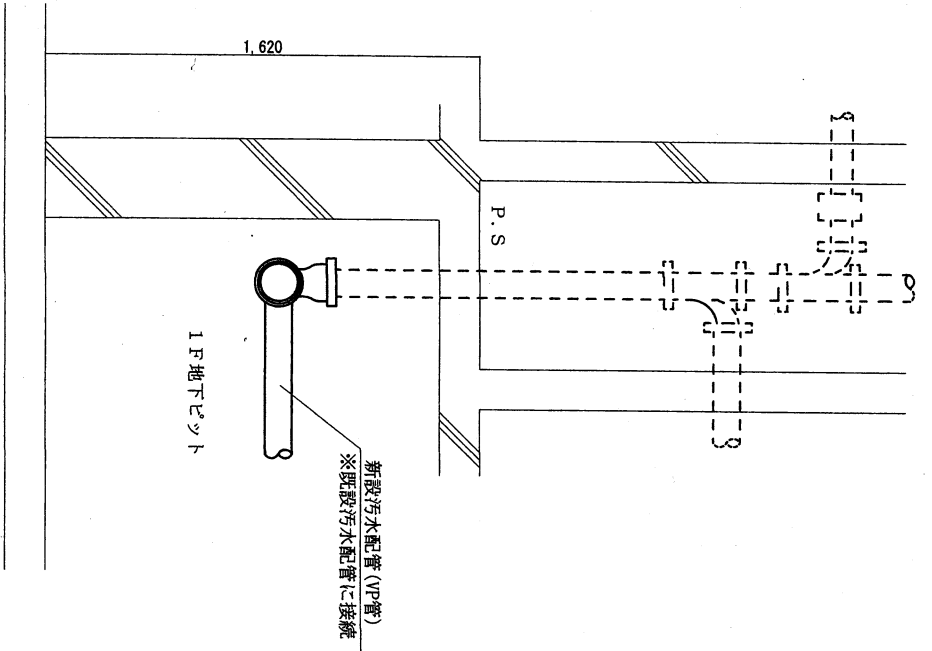
86号建物バイパスシャワー断断面詳細図 (改修後) S=1:20
※6F、3Pバイパス断断面詳細図

件名	(R7)竹松86号建物汚水配管補修工事				
図面名称	86号建物バイパスシャワー断断面詳細図 (改修前・後)				
縮尺	図示	作成年月日	令和7年6月1日	図面番号	5/7
		竹松駐屯地業務隊			管理科常備班

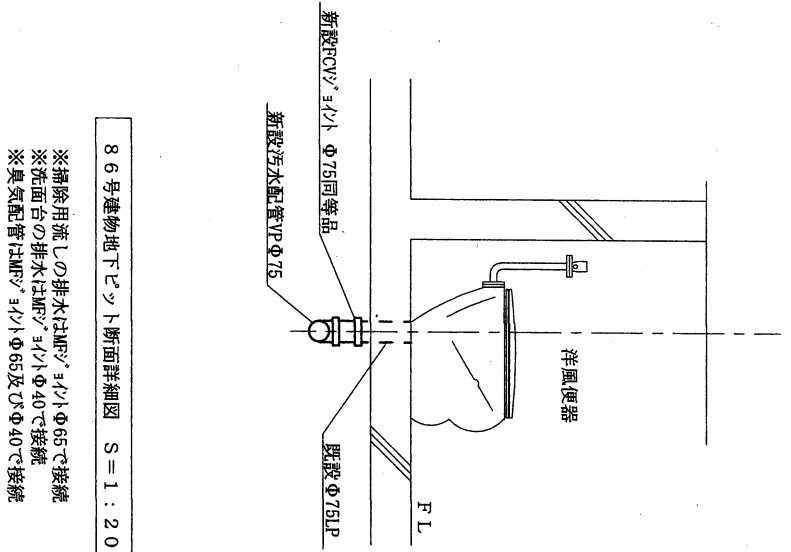


86号建物3F天井伏図 (改修後) S=1:50

件名	(R7)竹松86号建物汚水配管補修工事			
図面名称	86号建物天井伏図			
縮尺	図示	作成年月日	令和7年6月11日	図面番号
				6/7
竹松駐屯地業務隊 管理科宮崎班				

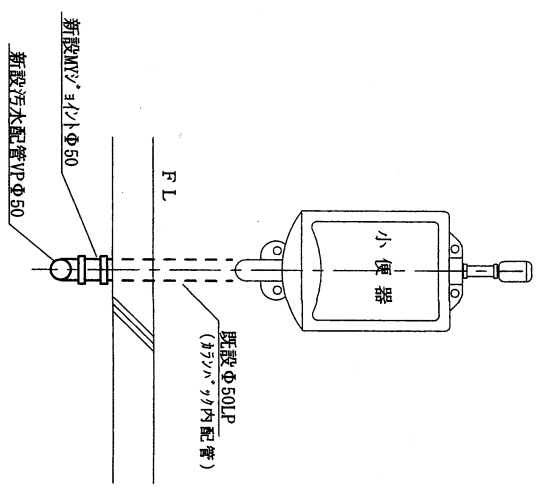


86号建物地下ピット断面詳細図 S=1:20



86号建物地下ピット断面詳細図 S=1:20

※掃除用流しの排水はMFパイプΦ65で接続
 ※洗面台の排水はMFパイプΦ40で接続
 ※臭気配管はMFパイプΦ65及びUPΦ40で接続



86号建物地下ピット断面詳細図 S=1:20

件名	(R7)竹松86号建物汚水配管補修工事					
図面名称	地下ピット断面詳細図					
縮尺	図示	作成年月日	令和7年6月1日	図面番号	7/7	
竹松駐屯地業務隊 管理科営繕班						